

## キャリアステージ全体で身に付けるべき能力・役割の明確化（養護教諭）

～ICT活用の特性・強みを踏まえ、校務等において効果的に活用するとともに、役割と専門性を最大限発揮する力～

| キャリアステージ全体   | 養護教諭に担うことが求められる職務  | ICTの効果的な活用  |
|--|--|---|
| 第4ステージ（ベテラン教員）   |  |   |
| 教職経験活用・発展期   |  |   |
| <p>ベテラン教員としての自覚と責任をもち、多様な指導経験と広い視点から同僚・若手教員に指導及び助言をし、積極的に組織運営の改善に取り組む</p>                    | <p><b>【救急処置】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の管理下において生じた傷病について、応急的な救急処置を行う</li> <li>・症状等の見極め、医療機関への受診の要否の判断・対応を行い、保健指導など適切な事後措置を行う</li> <li>・校内における組織的な救急体制を整備する</li> <li>・緊急事態への対応に係る校内研修の企画・実施を積極的に主導する</li> </ul>   | <p>◆タブレット端末を活用した保健指導</p>                                  |
| 第3ステージ<br>（目安：11年目～）   |  |   |
| 実践的指導力充実期  |  |   |
| <p>中堅教員としての自覚をもち、積極的に学校経営に参画するとともに、主任等の分掌に必要な役割・職務に関して理解を深め、組織マネジメント能力を身に付ける<br/>【推進と充実】</p> | <p><b>【健康観察】 【疾病の管理・予防】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康観察の結果を管理職に報告し、必要な対応を講ずる</li> <li>・ICTを活用し健康状態の把握を管理する</li> <li>・児童生徒等に自己の疾病や生活管理の必要性等を理解できるよう指導する</li> </ul>   | <p>◆健康観察集計のデジタル化<br/>◆校務支援システムを活用した校務の効率化</p>             |
| 第2ステージ<br>（目安：4年目～10年目）  |  |   |
| 実践的指導力向上期  |  |   |
| <p>積極的に学校保健経営に参画しようとする姿勢をもち、個々の個性・適性・分掌等に<br/>応じた資質能力を向上させる<br/>【実践と改善】</p>                  | <p><b>【健康相談】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内外の関係者と健康相談に対応するための体制を構築する</li> <li>・児童生徒等の立場に立った様々なチャンネルにより相談できる体制を整える</li> </ul> <p><b>【保健室経営】 【保健組織活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標や学校保健目標等を受けて、具現化を図るための保健室経営計画を作成する</li> <li>・保健室経営計画を職員会議や学校保健委員会等の場を活用しすべての教職員との間で共通理解を図る</li> <li>・学校保健活動を組織的に推進するため学校保健委員会等での検討を主導し、学校保健計画の策定に中心的な役割を果たす</li> </ul> | <p>◆健康相談及び保健指導や保護者との連絡・相談におけるオンラインツールの活用</p>              |
| 第1ステージ<br>（目安：初任～3年目）  |  |   |
| 実践的指導力習得期  |  |   |
| <p>教員としての心構えや公務員としてのモラル、学校保健、学習指導要領や教育課程についての基礎的知識及び指導力を身に付ける<br/>【理解と実践】</p>                |  | <p>◆学校医、学校歯科医、学校薬剤師等との情報共有・相談、研修等への参画等におけるオンラインツールの活用</p> |